

台風や集中豪雨のときは！！

台風がもたらす雨は大量の雨が短期間のうちに広い範囲に降るため、河川が増水したり堤防が決壊したりして水害（浸水や洪水）が起こることがあります。

また、雨により山や崖が崩れたり、土石流の発生などの土砂災害も起こります。

さらに、近年、アウトドアレジャーが盛んになり、キャンプをする人々が増えていますが、上流域に降った雨による増水で流される事故等も頻発しています。

今月号はこうした台風や集中豪雨の時に注意すべき点を紹介します。

◆ 気象情報・河川情報に注意！

まず、気象情報や河川情報をよくチェックしてください。被害の発生する恐れがある場合は注意報や警報が発表されますので、速やかに避難準備または避難を開始して下さい。

◆ 危険な場所へは行かない！

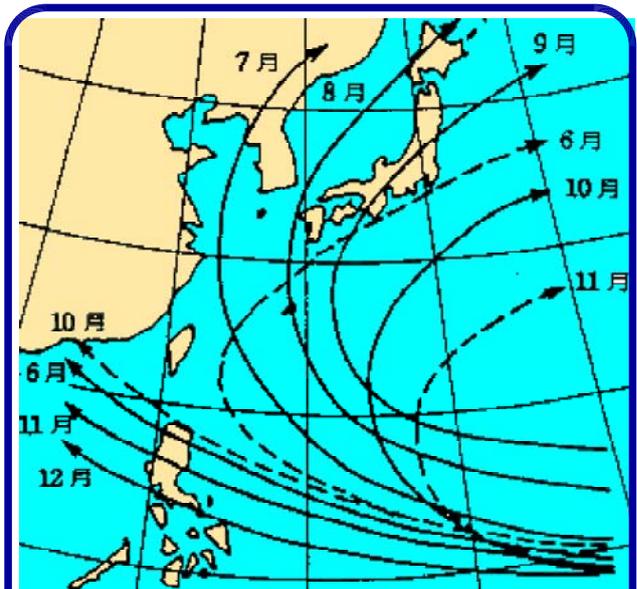
雨で増水した川や水路は危険がいっぱいです。特に田んぼの水を見に行った老人の事故が毎年発生しています。十分な注意が必要です。また、冠水した道路も側溝が分からなくなったり、マンホールの蓋が無くなっていることもあり、大変危険になります。その他、土砂崩れの起きそうな場所へは近付かないで下さい。

◆ 台風の風に注意！

強い風がおさまったからと行って、むやみに戸外へ出るのは危険です。1～2時間後に吹き返しがあることがあります。飛来物で死亡するケースもありますので、やむをえず戸外に出る時はヘルメットなどをかぶりましょう。

◆ 危険を感じたら・・・！

避難の勧告や指示がなくても、危険を感じたり、避難に時間がかかる場合には早めに自主避難をしましょう。避難の前には、火元や戸締まりの確認を忘れないようにしましょう。



台風の月別の主な経路図

8月・9月は台風の接近・上陸数が増えます。防災対策に万全を！！

＝ 地域の話題コーナー ＝

仮屋原地区激特事業完成現地見学会に地元住民等29名が参加！！

8月5日（火）午前10時から、深年川仮屋原地区の激特事業完成現地見学会が開催され、地元住民、県・町職員・施工業者等29名が参加しました。見学会ではまず最初に日高仮屋原区長、井手工務課長（高岡土木）、野中都市建設課長（国富町）からご挨拶を頂き、その後、事業概要の説明を行った後、参加者全員で事業箇所を見学、最後に樋門の操作訓練も実施しました。猛暑にもかかわらずご参加頂きました地元の皆さん大変ありがとうございました。

（事業概要説明風景）



（樋門見学風景）



←三名保育園の園児達が河道掘削が完了した河原で水遊びをしていました。



特定外来生物（植物）について

先月号の「四季のアルバム」に掲載しました「オオキンケイギク」は特定外来生物（植物）による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）で防除の対象となっている植物でした。他にも4種類の植物が対象となっていますのでご紹介します。

（オオキンケイギク）

（オオハンゴンソウ）

（オオカワヂシャ）

（アレチウリ）

（ナルトサワギク）



河川に関する問い合わせ先

国土交通省宮崎河川国道事務所本庄出張所

〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄5056-7

電話 0985-75-2179(土日・祝祭日及び夜間は事務所に転送されます)

事務所ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>